

# 令和4年度 自己評価書

2023 (令和5年) 3月  
学校法人高橋学園  
千葉学芸高等学校

## 1. 学校教育目標

### 〈1〉建学の精神と教育目標

|           |   |
|-----------|---|
| 建学の精神「創造」 |   |
| 教育目標      | 1. 心の創造 強い精神力と思いやりの心<br>2. 智の創造 知性と判断力<br>3. 美の創造 感性と技芸 |

#### 建学の精神

建学の精神は私立学校にとってその教育の最も根幹となる目標を示すものであり、すべての教育活動を建学の精神に位置づけて行われる。千葉学芸高等学校では、建学の精神「創造」のもと、美しい人類文化の創造にあたる実力を備えた人材の育成を図る教育活動を展開する。

#### 教育目標

教育目標は、建学の精神「創造」の具現化のため、心・智・美の観点から獲得を期待する知識技能能力の内容を示す。

心の創造においては、物事への集中や忍耐のできる強い意志を備えつつ、優しい思いやりも併せ持つ人間性の涵養を図る。

智の創造において、知性を磨き、知識を蓄積するのは正しい判断のできる理性を備えるためである。

美の創造においては、美しいものを美しいと感じ、それを言葉や身体で美しく表現できる能力や技能の獲得を図る。

#### スクールミッション (学校教育法施行規則第103条の2に定める方針)

##### 千葉学芸高等学校 スクールミッション

建学の精神「創造」のもとで、人間性を涵養し、文化の創造を担う有為な人材を育成します。

##### グラデュエーションポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

「強い精神力と思いやりの心」「知性と判断力」「感性と技芸」を備え、美しい人類文化の創造にあたる人間性と実力を育成します。

- (1) 個々の特性に応じて、学力・技術を磨きます。
- (2) 表現・コミュニケーション力、社会性などの21世紀型スキルを身につけます。
- (3) 科学的に理解し判断できる力を身につけます。

##### カリキュラムポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 美しい人間性と人類文化の創造を目指し、教育目標「心の創造」「智の創造」「美の創造」に沿って教育活動を展開します。
- (2) 時代を超えたテーマである人間性や実力を育む教育と、国際化や情報化など時代のニーズに対応した最新の教育を両立します。
- (3) 一人一人の生徒が持つ優れた特性を見出し、伸長する特性伸長の教育を行います。
- (4) 知識ばかりでなく技能の育成を重視した技能教育を行います。
- (5) 特色ある教育活動として、色彩教育、情報教育、国際教育、福祉教育、芸能教育、公務員教育を展開します。
- (6) 人類共通の価値観を尊重し、「持続可能な開発目標 (SDGs)」を理解し実践する探究活動を奨

励します。

### アドミッションポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- (1) 高等学校で学ぶための基礎学力を身につけた生徒。
- (2) 高校生活で、まじめに努力する生徒。
- (3) 学業やスポーツ、文化活動など、さまざまな特性をもつ生徒を歓迎します。

### 〈2〉教職員および生徒の行動目標

教育目標の実現のため教職員は、以下の信条のもとに教育活動にあたる。

|                               |
|-------------------------------|
| 《職員の信条》                       |
| (1) 建学の精神を生かし、日本人の特性と校風を高揚せん  |
| (2) 自己の誇りと責任を自覚し、全機能の発揮に当たらん  |
| (3) 親和・協力の心を基とし、内容の充実を求めん     |
| (4) 良き社会人たる素質を磨き、生徒の進路に万全を期せん |

生徒は、以下の誓いのもとに学校生活の充実を期す。

|                          |
|--------------------------|
| 《誓いの言葉》                  |
| (1) よい伝統と、よい校風をつくります     |
| (2) はつらつとした若さで学力・技能を磨きます |
| (3) 愛敬の心を生活に表します         |

また、以下の学年目標に沿って自己の研鑽・向上を図る。

|         |  |
|---------|--|
| 1 学年の目標 | 《自学》<br>私たち1年生は、次の目標をしっかりと実行して進みます。<br>(1) 高校生としての礼法・言語・動作を立派に築きます<br>(2) 友情・協同の精神を発揮します<br>(3) 自信の持てるまで努力いたします                  |
| 2 学年の目標 | 《充実》<br>私たち2年生は、学校の中心となり、充実した学年を築きます。<br>(1) 自分の将来の方針をたて、目標達成のために根強い努力をします<br>(2) 愛校・友情の精神を一日の生活に表します<br>(3) 自信の持てる力と人格を築きます     |
| 3 学年の目標 | 《独立》<br>私たち3年生は、自分の将来の方針をたて、最高学年として人格を磨き、よい社会人となります。<br>(1) 全校のよき指導者となります<br>(2) 社会にたつ一切の準備をいたします<br>(3) 自己の誇りと責任を自覚し、協力貢献を実践します |

### 〈3〉年度目標

以上を踏まえて、令和4年度の目標を以下のように設定した。

|                        |
|------------------------|
| 令和4年度学校目標 『ワンアップ：考える力』 |
|------------------------|

One Up（ワンナップ）は「一歩リードすること」。

千葉学芸高校として23年目。本年度のスローガンは「考える力」とした。

自分から見える世界について語り、他人が見ている世界についての情報を得て、同じところ、違う

ところに着目することで、ものの見方、考え方を養うことができる。正しい情報に基づき、正しく情勢判断をして、正しい行動を選択していくこと、その結果、安全策をとることもあればリスクを冒して利益を目指すこともある。

生徒が多くのももの見方考え方に触れて、物事の判断に関する感性を養い、一方的な見方に支配されるのではなく、批判的に物事を評価し、バランスよく判断する力を身につけさせたい。それが考える力である。

独りよがりな考えに染まるのではなく、多様な視点があることを知り、自ら何が正しいのか考える習慣を持たせる機会を与えることで考える力を向上させたい。

上記目標に主眼をおきながら、人格形成・コミュニケーションの充実、学力向上・技能獲得向上・資格取得、進路開拓などを目指して教育学習活動にあたる。特に特性の伸長、人間性の育成、技能教育を重視し、色彩教育、情報教育、福祉教育、環境教育、国際教育などに関連する授業や学校行事、クラブ活動などの諸活動の展開・充実を期す。

## 2. 学校の概要

|  |   |
|--|---|
| 学校法人高橋学園 千葉学芸高等学校<br>〒283-0005 千葉県東金市田間 1999 番地<br>TEL 0475-52-1161<br>FAX 0475-52-1163<br>インターネット <a href="http://www.cgh.ed.jp/">http://www.cgh.ed.jp/</a><br>電子メール <a href="mailto:info@cgh.ed.jp">info@cgh.ed.jp</a> | 令和4年度 学級数・生徒数<br>1学年 4学級 150名<br>2学年 5学級 180名<br>3学年 5学級 171名<br>全校 14学級 501名 |
|--|---|

学校の概要については、インターネットホームページで公表。また、コースガイド、創立130周年記念誌等の冊子にて紹介している。

## 3. 各部門の活動内容・活動状況（学校要覧）

学校の特色、および以下の事項等については、令和4年度学校要覧（冊子全80頁、関係者向け5月刊行）に記載。

- ・学校施設・設備、校舎面積
- ・学校行事の内容
- ・生徒会活動の内容
- ・クラブ活動の内容
- ・教職員の担当学年、担当教科、校務分掌、授業の持ち時間数、所持免許状の種類
- ・校内研修の内容
- ・学習指導（授業時数、時間割、総合的な学習の時間の内容）
- ・学籍・出欠席統計
- ・生徒指導上の諸問題及びそれに対する学校の対処や指導の状況
- ・進路の状況
- ・安全管理・保健管理（保健安全、防犯対策、防災対策）
- ・各部門の予算執行状況
- ・父母の会活動状況、地域との連携等の状況

## 4. 自己評価（令和4年度）

## A. 全般の評価

### （1）評価

全般評価：良好

### （2）課題と改善策

全般に関わる特に重要な課題として、生徒募集および新型コロナウイルスへの対応の2つを取り上げる。

## 概況

コロナ禍の中でも、学校行事は感染症対策を行いながら一般来場を再開し、実施することができた。実施しないものは生徒海外研修のみ。体育祭は種目を工夫し感染症対策を行った。富士登山は、宿泊先元祖室の協力で感染症対策し実施。夏期研修は箱根高原ホテルにて2団で実施した。

卒業式は来賓110名、保護者324名の参加で盛大に挙行することができた。

## 生徒募集状況の課題

令和4年度の新入学生徒数は前年－50名であり、前年・前々年の＋5、－5から大幅な減少に転じた。近郊の中学卒業生数が減少する中で、近隣公立高校の定員が過剰気味のため厳しい状況が続いており、私学の定員割れが続くなど環境が悪化する中でも、広報部を中心に生徒募集の努力をしたが、募集定員の54パーセントに留まった。成東高校の1学級増の影響が響いたと考えられる。他方、ICT環境の充実やコロナ禍の中でも学校行事を丁寧に開催していることへの評価は高く、野球部の広範囲からの生徒募集、全国でも少ないフルコンタクト空手部への入学希望など好材料も散見される。

本校の在学生の教育向上・進路状況は良好であり、困難な生徒募集状況は近隣公立学校定員過剰・公私学費格差等の外部要因によるものが主である。公立高校の募集人員増減により直接左右される状況は脱していく必要があり、受験生から選ばれるための魅力を一層高める必要がある。生徒募集の拡大のためには、内容の充実、広報・PRの工夫等の自己対処方策の充実発展により改善を図っており、授業料減免制度や奨学金制度の周知により私学を敬遠する意識の解消にも努めている。その結果、約6割が授業料減免制度を利用するなど、公私学費格差を乗り越える状況が生まれつつある。

今後も、環境悪化にも耐える体質改善を図るとともに、一層の広報努力によって生徒獲得を展開しなければならない。中学校教員も世代交代しており、本校ならではの数々の優れた特質について、中学校現場で十分には知られていない懸念もある。より丁寧にわかりやすい広報が必要であり、広報活動の質的量的改善も図っていく必要がある。公立の動向も注視し、展望をもって取り組んでいきたい。

## 新型コロナウイルスへの対応

2020年1月頃から新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、3月2日より全国一斉臨時休校を実施、4月7日に感染症緊急事態宣言発出、2020年から2021年に東京オリンピックが延期され、社会的な混乱が続いたが、2021年春からワクチン接種が開始されて、状況は落ち着きはじめて、2022年3月13日からは一般のマスク着用が任意となるなど行動制限が緩和された。2022年度中本校では家族感染陽性者は散見されたものの新型コロナウイルス感染クラスターの発生はなかった。

2020年10月に導入した生徒一人一台のタブレットPCは授業で活用されているが、幸いコロナ禍を理由とする臨時休校やオンライン授業の実施はなかった。風水害に伴う休校での活用も想定し、今後も必要に応じてオンライン授業が実施できる体制を保持し、訓練もしていくこととしている。

#### 施設設備の拡充

##### （１）学生寮「創勇寮」の建設

過去３年間八街市に野球部の後援会による寮を契約していたが、学校至近に独自の学生寮を設置することとし、2023年3月に竣工した。木造２階建806平方メートル。20の居室を備え寮監が常駐する。朝夕２食は調理を業者委託で提供。

##### （２）運動場用地の買収

雨天時等の運動場用地として、総合グラウンドに近接する東金市松之郷１番地の4394.2平方メートルを買収した。

##### （３）ICT教育設備更新

Windows 11に対応し高性能グラフィックボードRTX3060Tiを備えた高性能PCをはじめコンピュータ教室設備と、サーバー通信設備を更新し、10Gインターネット回線への接続も行った。これにより高度な画像動画制作や人工知能シミュレーションなど高度な情報教育に対応する。

##### （４）感染症対策のための設備拡充

二酸化炭素測定器、教室用サーキュレーターなどを国補助金などを活用して整備した。

#### 災害

自然災害による損害は軽微（台風）であった。

#### 栄誉の記録

- ・全国大会出場 吹奏楽部、空手部、少林寺拳法部、美術部
- ・関東大会出場 自転車競技部、ゴルフ部、空手部、少林寺拳法部

#### B. 部門ごとの評価（学校要覧に記載）

#### 5. 学校関係者評価

学校運営会議 中止（感染症まん延防止のため不開催）。

生徒（2～3月）にWebフォームにより学校評価アンケートを実施。保護者は5月父母の会時に実施。

以上